

2024年1月24日作成 Ver.1.0

2024年2月4日修正 Ver.1.1

2024年2月8日修正 Ver.1.2

《情報公開文書》

病棟における新規ストーマ造設患者のストーマ管理と退院に影響を与える因子の分析

研究の概要

【背景】

ストーマ造設された患者さんは退院後の療養継続においてストーマの管理が重要となります。このため、新たにストーマ造設された患者さんが術後にストーマ管理を習得する過程の中で退院に影響を及ぼす項目についての実態調査を行うことで、退院後安心して療養継続するために何が必要となってくるのかを探ります。

【目的】

ストーマ管理と退院に影響を及ぼす因子について、これまでの診療情報を用いて調査を行い、退院に向けた支援方法を探索します。

【意義】

ストーマ管理が退院に影響を及ぼす因子を抽出することは、術後早期からの退院支援の介入が可能となり、再入院やストーマトラブルの減少につなげることが期待できます。

【方法】

これまでストーマ造設された患者さんの情報を診療録から抽出し、退院に影響を及ぼす因子について調査します。調査内容として、年齢・性別・手術方法・ストーマの種類・退院に向けた支援の内容・ストーマ管理の状況・術後の経過についての情報を使用します。

対象となる患者さん

2020年4月1日～2023年3月31日の間に長崎大学病院腫瘍外科（消化器外科）において大腸がんの診断でストーマ造設術を受けた患者さん。

研究に用いる情報

<p>●研究に用いる情報 下記の情報を診療録より収集します。 入院時・術後3日目・退院前日の以下の情報 ○患者背景 ○退院調整の程度○ストーマ管理段階○術後の回復状態 ※本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>	
<p>情報の利用開始予定日</p>	
<p>本研究は2024年3月26日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。</p>	
<p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。</p>	
<p>研究実施期間</p>	
<p>研究機関長の許可日～2025年3月31日</p>	
<p>研究実施体制</p>	
<p>研究責任者</p>	<p>所属：長崎大学病院 看護部 8階西病棟 氏名：本田 博之 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095(819)7398</p>
<p>情報の管理責任者</p>	<p>長崎大学病院 病院長</p>
<p>問い合わせ先</p>	
<p>【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 長崎大学病院 看護部 8階西病棟 本田 博之 〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095(819)7398 FAX 095(819)7388</p>	
<p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200 受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）</p>	